

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和5年7月13日(2023.7.13)

【国際公開番号】WO2022/118624

【出願番号】特願2022-566810(P2022-566810)

【国際特許分類】

C 0 8 G 1 8 / 2 2 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 G 1 8 / 1 0 (2 0 0 6 . 0 1)

C 0 8 G 1 8 / 5 4 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

C 0 8 G 1 8 / 2 2

C 0 8 G 1 8 / 1 0

C 0 8 G 1 8 / 5 4

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月25日(2023.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ジルコニウム化合物(A)と、前記ジルコニウム化合物(A)以外のその他の金属化合物(B)とを含有し、前記ジルコニウム化合物(A)中のジルコニウムの総質量100質量部に対する、その他の金属化合物(B)中のその他の金属の総質量が10~80質量部の範囲であり、

ウレタン化反応の原料として、少なくともフェノール性水酸基含有化合物(Y-2)を用いることを特徴とするウレタン化反応触媒。

30

【請求項2】

ウレタン化反応の原料として、少なくともアルコール性水酸基含有化合物(Y-1)と、フェノール性水酸基含有化合物(Y-2)とを用いる、請求項1記載のウレタン化反応触媒。

【請求項3】

前記その他の金属化合物(B)が、亜鉛化合物、チタン化合物、鉄化合物のいずれか一種類以上である請求項1記載のウレタン化反応触媒。

【請求項4】

請求項1~3のいずれか一つに記載のウレタン化反応触媒を用いて得られるウレタン化合物。

40

【請求項5】

請求項4記載のウレタン化合物を含有する硬化性組成物。

【請求項6】

請求項5記載の硬化性組成物の硬化物。

【請求項7】

請求項1~3のいずれか一つに記載のウレタン化反応触媒を用いたウレタン化合物の製造方法。

【請求項8】

請求項1~3のいずれか一つに記載のウレタン化反応触媒の存在下、ポリイソシアネート化合物と、アルコール性水酸基含有化合物(Y-1)とを反応させてイソシアネート基含

50

有中間体を得、次いで、前記中間体とフェノール性水酸基含有化合物（ Y - 2 ）とを反応させる、ウレタン化合物の製造方法。

10

20

30

40

50